



### 宮坂良子

高齢者が安心して暮らせるために、介護保険外しの総合事業の改善を

**問** 4月から要支援1、2が介護保険から外され、総合事業が始まった。①通所型Aが移行できなかったが、要因はどのように考えているか②事業所や利用者の声は③事業所への報酬は、現行比マイナス17%、他市に比べても8〜12%も低い。事業所の報酬引き上げを求める④訪問型Aについても引き上げを⑤シルバー相談室狛江団地の増員やカフェなどの拡充を⑥多摩川住宅へ優先して設置を。

**答** ①みなしサービスと一体で実施すると、緩和のインセンティブが働かないためと考えている②報酬が安い、制度がわかりにくいという声をいただいた③利用実績を踏まえつつ事業所からも意見をいただきながら検討する④通所型サービス同様、事業所から意見をいただいた上で考える⑤現在のところ、予算増等は考えていない⑥設置に向け、場所や事業者の選定も含め、取り組む。

**市民が使いやすい市民のための市役所駐車場にするために**

**問** 「1800〜1200円となり高過ぎる」「医療にかからず80代の人も頑張っている。健康寿命の延伸と言っているのに、年寄りを追い出すようなことをやらないでほしい」など多くの声が寄せられている。市民の切実な声をつかんでいるか。②3時間無料にする③補填額は幾らか。④総務部長は「次の更新なり、年度内でも料金調整は検討」との答弁だった。せめて3時間無料を。

**答** ①市長への手紙に匿名で3件あり、有料化は仕方ないが時間料金を低く設定するなど料金体系を見直してほしいという内容。②平成28年11月から平成29年1月までの精算情報から公民館利用者を抽出して算出、月額9万9000円、年額にして約118万円の経費が見込まれる。③事業者の検討結果を踏まえつつ、市民センター利用者のみを優遇する割引延長はすべきではないと判断した。



### 西村あつ子

まちづくり条例の役割について

**問** ①まちづくり条例の目的と役割②まちづくり調整会の効果と評価③オーケー狛江中和泉店について④調整会の経過⑤事業者と市の協定内容は⑥敷地内の駐車場設置は可能なのか⑦空地部分で駐車場設置は可能か⑧事業者が行っている「敷地内駐車場設置に関する要望」への署名に、近隣の方々は心配している。市はどのように感じているのか。

**答** ①市民、事業者及び市の協働による望ましいまちづくりを計画的に推進②合意形成や相互理解に有効に機能③平成26年9月1日から平成27年12月11日まで7回開催④駐車場確保、荷さばき用等駐車スペース確保、南側の土地利用は店舗と関係ある利用方法はせず南側に起因する交通量増加等による市道周辺への影響を過度に及ぼすことのないよう考慮等⑤協定に抵触する変更は想定していない⑥協議することになる⑦残念である。

**安心して暮らせるまち**

**問** ①中学校特別支援教室モデル事業について②取り組み状況③教員配置と指導体制④教員研修⑤教員の過重負担の軽減が求められるが⑥緑野小学校のふたば教室がTV放映された経過⑦特別支援教室専門員の役割⑧発達障がいへの理解を深めるため、「ガク☆チキ」の活用を⑨感覚過敏の人達へ配慮した取り組みの研究を⑩児童発達支援センターは、感覚過敏等当事者の意見を聞き建設を。

**答** ①⑦拠点校から他校に巡回実施⑧教員は4名。個別指導及び小集団指導実施⑨特別支援教育コーディネーターの育成と全教職員対象の研修実施⑩負担軽減方策を検討②教諭の実践を学会等で発表、書籍等を執筆した実践が注目された③巡回指導教員等と連携し円滑な運営④一層の配慮や保護者の理解が必要。総合的に判断したい⑤狛江で可能な取組を調査研究⑥他市の先進事例を調査研究。



### 小野寺克己

多様な背景を持つ外国人の日本語学習支援の整備と現状把握を

**問** ①市内の外国人が交流できる体制として市民活動支援センターが中心に交流を要望する。市の見解は。②小・中学校では学校からのプリントなどについて日常会話は大丈夫でも書面では読むことが難しい外国人保護者に対する対応は。

**答** ①既に国際交流協会の情報を掲載。市民活動支援センターの情報発信、相談、コーディネーター機能を活用できると考える。②基本は担当が対応。PTAで語学が堪能な方の協力。必要に応じて、学校と家庭の連携推進事業による家庭と子供の支援員を配置。

**認知症の方への支援**

**問** ①認知症予防に非常に効果が認められているコグニサイズを今後どのように推進していくのか。②認知症の方の徘徊等に対応するための見守りキーホルダーやステッカー等を有機的に実施・導入に向けて検討をすべきと考えるが市の見解は。

**答** ①認知症予防に向けたさまざまな手法が開発されることが想定される中でコグニサイズを含め、より効果的な手法を取り組みに反映させていく。②徘徊先での安全確保は重要な柱である。紹介いただいた取り組みも含め、効果的な手法を取り入れていく。

**さらなる「ごみ減量化」に向けた取り組み**

**問** ①各地域センター等に設置された使用済み小型家電回収ボックスの回収時期などの運用について。②生ごみ処理できるペランダdeキエーロの展望と販売の検討について。

**答** ①平成27年11月より10カ所の施設に設置回収は職員により随時実施。今後、設置場所のPRを行う。②モニター募集を行い、市民の負担感やキエーロの処理能力を検証。有効性や使用における容易性を確認次第、普及啓発に努めていく。



### 石川和広

教育関連施策及び事業について

**問** ①第三次子ども読書活動推進計画を前倒しで策定した理由について。②正式に立ち上がった「学校支援地域本部」の今後の構想と具体的な展開について。③大きくリニューアルされた教育委員会の広報誌「ホームページ」の今後の構想と具体的な展開について。

**答** ①国及び都の第三次計画策定状況を踏まえ前倒しが必要になった。②将来的に「学校支援地域本部」から「地域学校協働本部」への移行を想定。③広報誌で興味、関心を引いてHPに誘導するという形の運動に着目して調整。

**安心して安全なまちづくりについて**

**問** ①公共施設内のエレベーター内に「防災キャビネット」を設置できないか②避難行動要支援者名簿登録者数と支援個別計画策定に要する期間は③安心・安全の視点から、利用者の多い前原公園にも東京都の補助事業を活用して防犯カメラを設置できないか。

**答** ①市内公共施設のエレベーターは現在30基、設置場所を含め今後検討したい②平成28年度末で、3935人。個別計画策定期間については、平成30年度から2カ年程度を予定③日本一安心で安全なまちづくりの前進になるので、所管部と協議・検討したい。

**地域包括ケアシステムの構築に向けて**

**問** ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査の分析結果の概要は②男性介護者への支援・サポートは考えられないか③市役所内に設置された自動血圧計を他の公共施設内にも設置ができないか。

**答** ①女性は運動器機能低下、閉じこもり等が高く男性は低栄養、認知機能低下リスクが高い。主介護者の年代状況に即した支援策必要②介護への認識を変えられるような講演会や男性介護者が参加しやすい家族介護者の会の運営機会を設けていく③調整していく。



### 亀井和美

子供から高齢者まで、誰もが安心して利用できる道づくりに

**問** ①道づくりに関するバリアフリー化とユニバーサルデザインの認識②道路陥没の主な原因③道路陥没が発生した際の対応④29年度予算における路面下空洞調査委託内容⑤委託業者の選定方法⑥今回の路線以外の進め方⑦今後、陥没事故を起さないための取り組み。

**答** ①バリアフリー化の取り組みを重ねていく②管きよの損傷による土砂流出、転圧不足、不必要となった構造物の存置③職員または市内工事業者で対応④緊急啓開道路を調査⑤プロポーザル方式⑥調査結果を踏まえ検討。⑦調査、修繕を計画的かつ継続的に行う。

**親の介護と子育てを同時に担うダブルケア支援について**

**問** ①ダブルケアに対する認識②認可保育園への入所基準に対する配慮③今後の課題④地域福祉計画の策定におけるダブルケア⑤介護施設への入所基準に対する配慮⑥今後、増加が見込まれるダブルケアに対する対策。

**答** ①深刻な課題で、重要な課題②介護が理由の入園申込ができる基準あり③担当部署の情報共有や連携④平成30年度を期とした狛江市第4次あいびあレインボープランで包括的支援等構築⑤第1次・2次指標が定められており配慮される⑥先進市の取り組みを参考に、策定を参考に、新言葉「ゼロから覚えていく赤ちゃんの、新生児聴覚検査に公費助成を」

**問** ①生後、間もない赤ちゃんに行う検査②新生児聴覚検査に対する認識③新生児聴覚検査の方法④市における新生児聴覚検査の取り扱い⑤新生児聴覚検査の実施状況の把握⑥公費助成を実施する上での課題や問題点。

**答** ①黄疸検査、マス・スクリーニング検査、聴力検査、聴診、視触診等②難聴の発見がおけると発達に影響があり重要③「自動聴性脳幹反応」または「耳音響放射」④任意検査⑤26市中3市で実施⑥市単独では医療機関が限定、都内共通受診票なら導入しやすい。